

# 銭湯であそぼう！ in 久米川湯

—写真—

作成：2009.03.19

更新：2009.06.15



特定非営利活動法人ソーシャライズ

代表：片山啓吾

090-4841-7423

Keigo@sociarise.or.jp

昭和の銭湯。

その空間は、地域の人たちが顔を合わせ、声を交わし、老若男女が集う地域コミュニティの主役的存在。まさに小さな「地域」がそこにはあったのです。

そして今。

地域コミュニティの主役だった銭湯は、自宅風呂の普及と共に利用者減少し、当時の元気だった面影が薄れてきてます。

『今こそ銭湯』

銭湯は、天井が高く、お湯の音がこだまする非日常の空間。

銭湯を知らないなんてもったいない!

その多くが銭湯未体験である地域ママ・パパ・子どもたちに、この銭湯イベントに足を運んでいただき、「昔から変わらぬ、ぬくもりある地域コミュニティの主役」である銭湯を体験してもらいたく、銭湯でのイベントを企画しました。

また、この銭湯イベントは、地域のおじちゃん・おばーちゃん、子育て支援関係団体など、皆さんの協力を得て実現されます。

現代社会の中で薄れはじめている「年齢や世代を超えたコミュニケーション」「受け継がれてきた知恵や経験の共有」を体験し、地域全体が、地域のママ・パパ・子どもたちを応援しているんだということを感じてもらえたらと願っています。

NPOソーシャライズ  
代表理事 片山啓吾



# 図で解説 “銭湯で遊ぼう！” とは

企画・主催：NPO法人ソーシャライズ  
(司会進行・記録・運営)



協力：ころころの森  
(機材貸し出し・職員と白梅学園学生による運営サポート)



参加：地域の子どもたち、ママたち、  
おじーちゃん・おばーちゃん



協力：花さき保育園  
(運営サポート)



協力：NPO法人こっこつ  
(カフェ運営&出演)



出演：地域にお住まいの皆さん  
(出演)



宮崎さん   とんぼさん   松川さん   スマイリング・オカリーナ



協力：くめがわ湯  
(イベント会場提供)



- ★親子の新しい体験の場
- ★地域コミュニティ活性化と認知の推進
- ★地域の異世代の交流
- ★地域子育て支援や  
地域活動パーソンの表情を伝える
- ★“地域の中の銭湯”の活性化

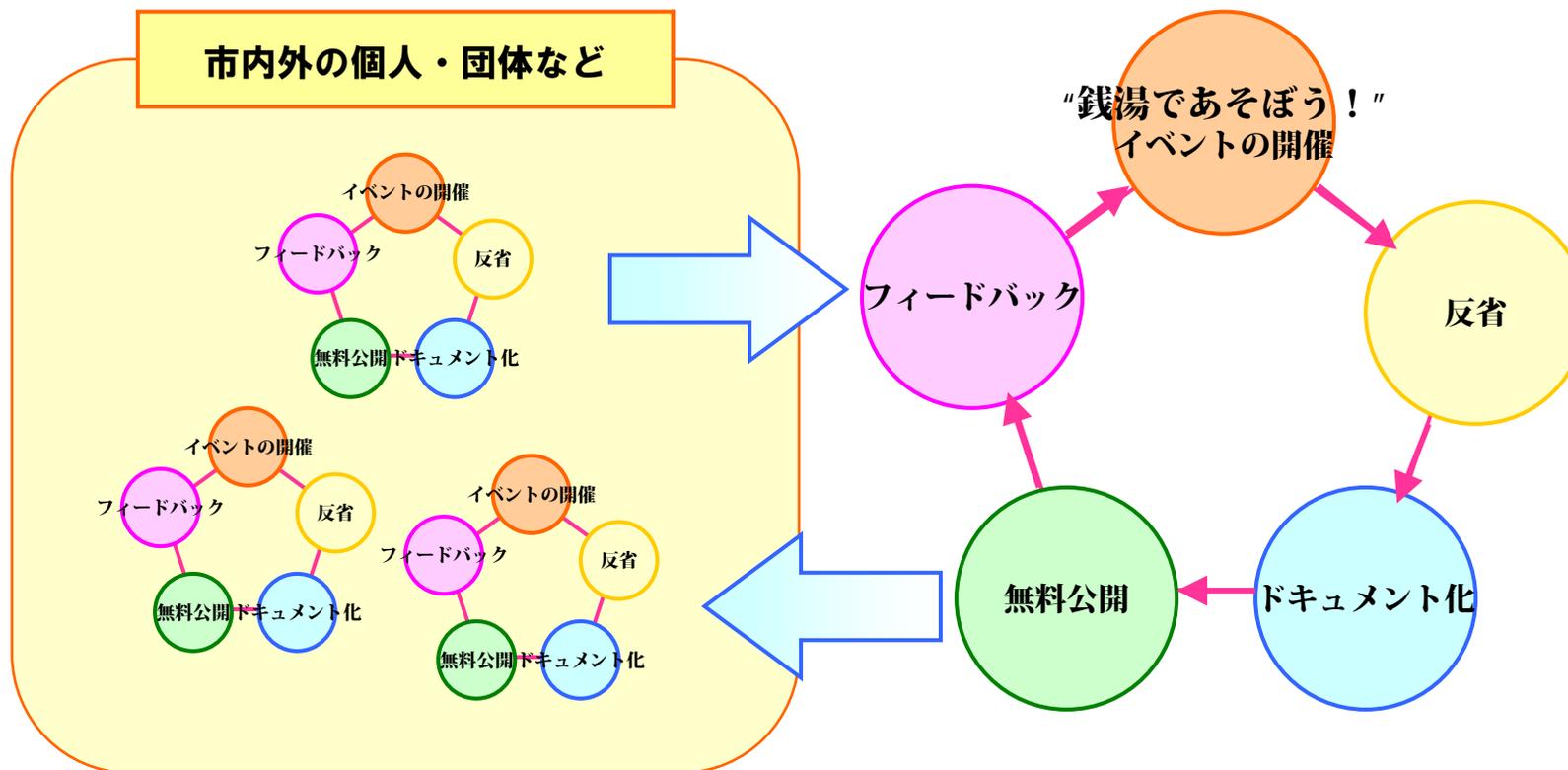
東村山発の新たな取り組みを発信したい！  
地域に新しい彩りを加えたい！

イベントの開催は、一定のノウハウが必要で、未経験の人にとっては垣根がないとはいえません。本イベントでは、これで培ったノウハウなどをドキュメント化し、無償で市内外の個人・団体などへ向けて公開します。

少ないノウハウかもしれませんが、このドキュメントが微力なれど“新たな行動を起こす人”の力になればとっています。

### ドキュメント公開の狙い

- ・この取り組みを、東村山の新しい息吹を、市内外の人たちに知ってもらいたい。
- ・市内外で、同様の取り組みを検討している人がいれば、この経験を活用して欲しい。
- ・活用してくれた他団体からのフィードバックをもらえれば、お互い経験を活かすことができる。



# 写真で振り返る

## 事前準備 ① ～イベント会場、銭湯のお掃除～



イベント前日から、協力できる範囲で、イベント会場となる銭湯のお掃除。いつも綺麗な久米川湯ですが、もっと綺麗になりました。

## 事前準備 ② ～粘土と絵の具をつくる～



自家製の絵の具と粘土を内職。  
 絵の具はだんご粉で、粘土は上新粉で。  
 色は食紅で。  
 足りない色は身の回りにある身近なもので作った。



ころころの森さんからお借りしたマットなどを配置。装飾の風船や変身ミラーの設営。  
各団体や協力者のご挨拶などを行いました。  
黄色いTシャツは久米川湯ご主人の金子さん。



折り紙を折ったり、教えたり。  
銭湯のふしぎなものを体験してみたり。



女湯浴槽では、開演の挨拶、オカリナ演奏。  
脱衣場ではおじーちゃんから折り紙を教わる。

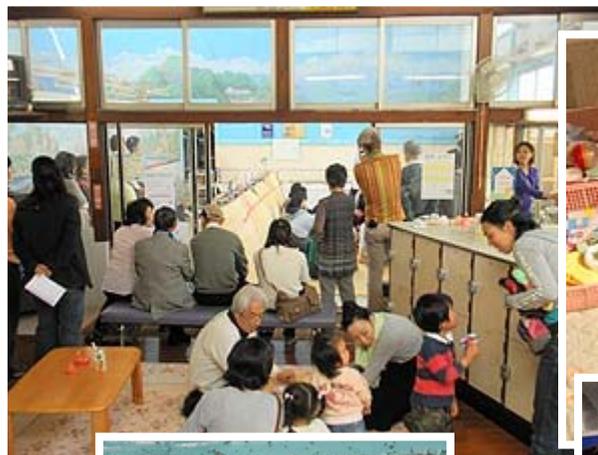




ここっと前田さんのマジックショーあたりで、来場者が増加。11時ころ。オカリナ演奏を終えたおじーちゃん&おばーちゃんが脱衣所に加わり、賑やかな雰囲気に。保育ママの田中さんと子どもたちも来場。



松川秀人さんの沖縄三味線で会場は盛り上がり、大人も子どもも一緒になって踊った。途中、銭湯から出る音を聞いて来場した中学生3名も加わった。変身ミラーで遊ぶ。久米川湯フロント担当の近藤さんのご挨拶、ころころの森大塚さん、花さき保育園塩崎さんのご挨拶と、お二人による森のクマさん。



ここと酒井さんのエプロンシアター、宮崎さんの腹話術で会場は盛り上がる。お昼ご飯タイムでは、ママも子どもも演者も入り交じってご飯を食べる。疲れた子どもはお昼寝。



午後の最初はオカリナグループが再び舞台に。  
オカリナグループひ引き続き、とんぼさんギターの登場。  
子どもたちが立ち上がって歌い踊った。  
脱衣所では、音楽を聴きながら異世代の交流が。



絵の具の数が足りないくらい、子どもたちが思い思いの絵を描いた。  
絵の具対策で絵の具がついてもいい服装をしてきてくれた。着替えるママや子どももちらほら。会場にはこどもたちの声がこだました。



## 開演中 入浴



初めての銭湯で泣く子もいたが、ママは子どもの姿を見て終始笑顔。  
大塚さん、塩崎さんが子どもたちを見守った。

白梅の学生たちが活躍。2人の子どもを連れたママのサポートを積極的に行った。



閉会後にスタッフみなでお掃除。  
当日の反省点や改善点、良かった  
点について話し合った。



## ご協力、ありがとうございました！

- ・スマイリング・オカリーナ（オカリナ演奏）
- ・宮崎夫妻（腹話術人形&折り紙コマとか）
- ・とんぼさん（ギター語り弾き）
- ・松川秀人さん（沖縄三味線）
- ・NPOここっと（カフェ運営&エブロンシアター&マジック）
- ・花さき保育園（運営サポート）
- ・白梅学園の学生たち（運営サポート）
- ・ころころの森（運営サポート&物品貸し出し）
- ・NPOソーシャライズの仲間たち



**特定非営利活動法人ソーシャライズ 法人概要**



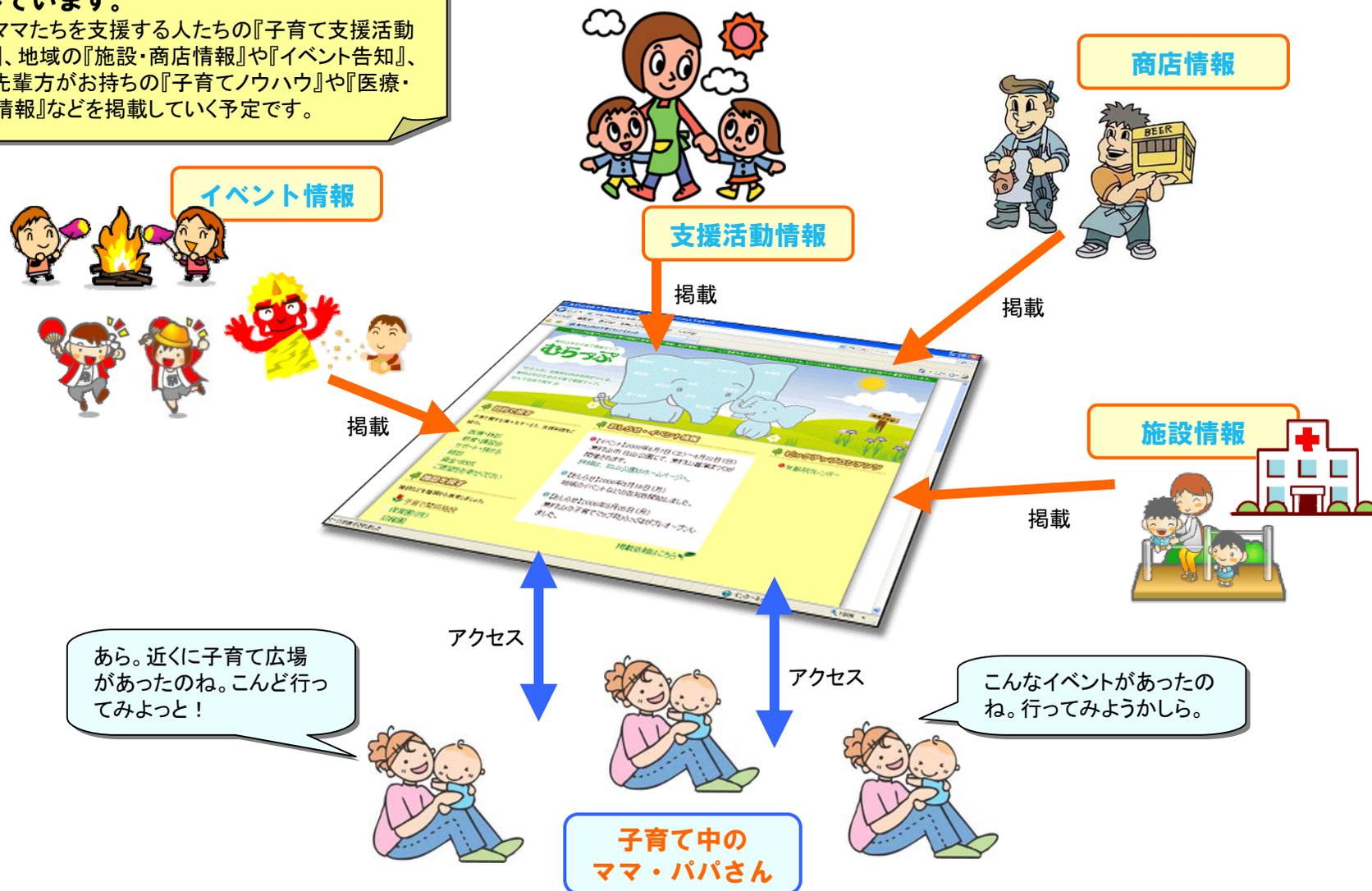
「こんなのがあればいいのに」「こうだったらいいのに」  
 誰もが口にするこの言葉。  
 だけど、何もしなければ何も変わらない。それはみんながわかっていること。  
 ならば、今ここで改めてスタートしていこう。  
 必要なものが今そこにはないならば、必要とする自分たちが創っていこう。  
 何かが変わり、うまれるのを待つのではなく、自分たちが変え、うみ出していこう。  
 そんな思いで創ったNPO法人です。

私たちソーシャライズは、  
 私たちの“まち”をより住みよい“まち”にするための第一歩として、  
 『子育て支援情報の提供』に取り組んでいます。

法人名	特定非営利活動法人ソーシャライズ
代表者	かたやま けいご
メンバー	理事 秋葉 秀央(NPO法人TINA 代表) 原 直之 監査 土田 慎太郎(法律事務所あすか 弁護士) 社員 8名
事務所	東京都東村山市久米川町3-21-1-206
連絡先	Keigo@sociarise.or.jp 090-4841-7423(片山携帯) 042-306-0606(TEL) 042-306-0607(FAX)
設立日	2008年12月24日(2008年4月活動開始)
主な活動内容	東村山市の子育て支援情報サイトむらっぶの運営・管理

# 現在の活動内容① ～子育てマップ“むらっぶ”とは～

むらっぶは、  
**地域の子育て支援情報プラットフォーム**を  
 目指しています。  
 子育てママたちを支援する人たちの『子育て支援活動の告知』、地域の『施設・商店情報』や『イベント告知』、子育て先輩方がお持ちの『子育てノウハウ』や『医療・健康の情報』などを掲載していく予定です。



★コミュニティ運営

【花さき保育園】

地域とのコラボレーションで実現。園が運営する青葉町の3つの子育てひろば

【HUG子どもパートナーズ】

暖かい雰囲気のがちちょう子育てひろば

【コミュニティスペースよるべ】

久米川辻そばの一軒家は親子が集まるほのぼのコミュニティ

【ころころの森】

旧保健所にできた、子どもとママ&パパの楽園！

★保育所・幼稚園運営

【東村山 5名の保育ママ】

家庭の雰囲気そのままに。子どもとのこの距離感が保育ママ♪

【NPO法人東村山子育て支援ネットワークすずめ】

木の香りがするおしゃれな保育園も 現役ママたちの活動からはじまった

★ミニコミ誌発行

【トコトコ・ワールド】

きっと手に取った方も多はず。情報ぎっしり”トコトコ通信”

★図書館

【くめがわ電車図書館】

地域のママ&パパがつくった、東村山で最も歴史ある、ちょっと変わった図書館？



現在の活動内容② ～ まちの銭湯で子育てイベント ～

企画・主催：NPO法人ソーシャライズ  
(司会進行・記録・運営)

協力：ころころの森  
(機材貸し出し・職員と白梅学園学生による運営サポート)

参加：地域の子どもたち、ママたち、  
おじーちゃん・おばーちゃん



協力：花さき保育園  
(運営サポート)



協力：NPO法人こっこつ  
(カフェ運営&出演)



協力：くめがわ湯  
(イベント会場提供)



- ★親子の新しい体験の場
- ★地域コミュニティ活性化と認知の推進
- ★地域の異世代の交流
- ★地域子育て支援や  
地域活動パーソンの表情を伝える
- ★“地域の中の銭湯”の活性化

出演：地域にお住まいの皆さん  
(出演)



宮崎さん   とんぼさん   松川さん   スマイリング・オカリーナ

東村山発の新たな取り組みを発信したい！  
地域に新しい彩りを加えたい！

## 2009年3月18日に開催しました

### 昭和の銭湯。

その空間は、地域の人たちが顔を合わせ、声を交わし、老若男女が集う地域コミュニティの主役的存在。まさに小さな「地域」がそこにはあったのです。

そして今。

地域コミュニティの主役だった銭湯は、自宅風呂の普及と共に利用者減少し、当時の元気だった面影が薄れてきてます。

### 『今こそ銭湯』

銭湯は、天井が高く、お湯の音がこだまする非日常の空間。

銭湯を知らないなんてもったいない！

あなたも、ぜひ、このイベントに足を運んで、銭湯を体験してみませんか！？



協力：久米川湯、ころころの森、白梅学園、NPOここっと、花さき保育園、地域の方々



**片山啓吾**  
1977年12月生まれ  
東京都東村山市 出身。

- 1998年 東京工科専門学校 情報処理科卒  
トランスコスモス株式会社 入社  
UNIXに関するシステム・ネットワーク設計に携わる。
- 2000年 個人事業デジタル・アドバイザー 設立  
同社代表に就任。  
ウェブサイト制作受託業務を開始するも2ヶ月で解散。
- 2001年 有限会社デジタル・アドバイザー 設立  
同社 代表取締役就任。  
ウェブサイト制作の制作業務を開始。  
自社サービス、メール配信システムを販売開始。  
国内初のインターネットを活用した計画外流通米の流通事業をNPOとして立ち上げる。
- 2003年 株式会社シリウステクノロジーズ 設立  
同社 取締役ビジネスクリエイターに就任。  
事業戦略、アライアンス戦略、システム設計等を担当。  
主に、
  - ・国内初のSNSサービスの立ち上げに参画
  - ・世界初のモバイルGPS連動型SNSの立ち上げ
  - ・世界初のGPSを活用した広告配信サービスの立ち上げなどに携わる。
 現在もGPSを活用した広告配信サービスではモバイルサイト大手のモバゲータウンなどで採用されている。
- 2008年 NPO法人ソーシャライズ、株式会社ユナイトリックスを設立。  
まちの発展につながるウェブコンサルティング事業、人に喜ばれるソリューション開発を行う。  
他、NPO TINA理事、株式会社アトランティス顧問を兼任。  
日本大学 通信教育部 法学部 政治経済学科 在学。



←東村山の子育て情報マップ むらっぶ  
地図やカテゴリから地域情報を検索できる。

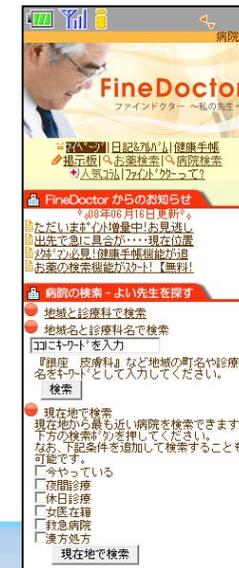
↓九十九里スーベニアネット  
経済産業省認定の助成事業。  
九十九里浜の観光情報やお土産情報を掲載。  
九十九里の魅力を市内外に発信。



↓おこめナビ  
全国440の稲作農家をネットワーク。  
生産者の顔と思いが伝わるお米販売。  
同社NPOでは稲作農家への就農支援なども行う。  
ちなみに、片山は同NPOの理事。

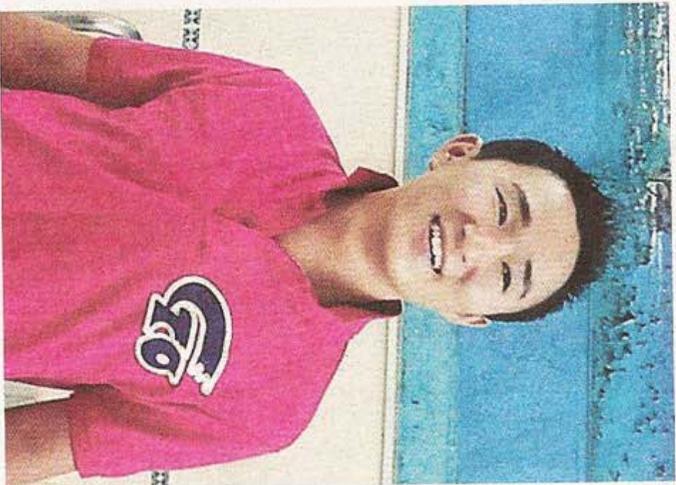


↓ファインドクター  
診療科や症状、GPSなどで病院を検索。  
掲示板やポイントシステムなど。



「折り紙で、こんなうま  
く花の形が作れるんですね。」  
お年寄りが幼児に折り方を教  
えているのを見て、近くに  
た母親が感心していた。腹話  
術の人形劇では会場内に笑い  
声が響き、沖繩三味線の演奏  
が始まると大人も幼児も一緒  
に踊り出す。  
普段からよく通っている東  
村山市本町の「くめがわ湯」  
で今年3月に開いた「銭湯で  
遊ぼう」のひとコマだ。市  
内の0〜3歳児と保護者ら約

(第3種郵便物認可)



イベントを主催する

片山 啓吾さん 31

70人が参加し、運営には地域  
住民らが携わった。  
主催したのは、自身が昨年  
12月に設立したNPO法人  
「フーシヤライズ」。初めて  
のイベント開催だったが、「み  
んなが銭湯という場を共有  
し、つながりを深められた」  
と手応えをつかんだ。  
銭湯をイベントの舞台に選

銭湯で地域交流

んだのは、利用者の減少に苦  
しむ地域コミュニティを守  
りたいという思いがあるから  
だ。幼い頃に通った市内の銭  
湯では、見知らぬ大人がよく  
声を掛けてくれた。「何歳だ  
い」

「水を入れず  
ぎると、ほかの人  
が入る時にぬるく  
なるよ」。人と触  
れ合うなかで社会  
のルールを学ぶ場  
所でもあった。



自然環境など、ま  
ちづくりへの意識  
が広がることを願  
う。  
今月26日には  
「くめがわ湯」で  
第2弾のイベント  
を計画している。今回は対象  
年齢を広げ、地元企業の協力  
も決まった。

出身 東村山市野口町在住。  
で、同市久米川1町在住。I  
専門学校で情報処理解の会社勤務。I  
T (情報技術) 関係の会社でホームムベ  
を経て、現在はまだ自宅を請け負って  
いる。「むらっぶ」のアドバイザーは、  
<http://murap.jp/>

今年5月に長男が誕生し、  
たい」といのがその理由。  
ちよどその頃、市内の子育  
て支援団体などを紹介するホ  
ムページ「むらっぶ」を開  
いた。心を支えたい。

(岡本裕輔)